

科目名	サブタイトル	担当教員	配置学年
航空論	航空輸送の発展と役割	栗田 善吉	2 年次後期
講義の目的	本講義では、航空機の発達および航空輸送の発展の経緯、さらには、主に長距離の交通市場における航空輸送の現状および役割を理解することを目的とします。また、最近の LCC（ロー・コスト・キャリア）の参入によって、国内線のみならず、国際線の市場にどのようなインパクトがもたらされたか、特に、新幹線との競合がどのように推移しているかを眺めながら、航空会社の経営戦略等を理解してもらいます。		
到達目標	我が国の航空業界および欧米各国の航空業界の現状を理解し、今後の我が国航空産業の展望について考える力を身につける。		
講義内容	今や、日本経済のみならず、世界経済にとっても人や貨物の輸送に欠かすことのできない航空輸送がどのように発展してきたのか、また、航空輸送を支える重要なインフラとしての空港整備および空港経営について、最新の情報も織り込みながら、分かりやすく説明します。特に、航空産業の規制緩和の流れや、新規航空会社の参入や経営統合、さらには、整備新幹線の開業に対抗する経営戦略等について、基礎的な理論も交えて解説します。		
講義スケジュール	第 1 講	オリエンテーション（航空論で学ぶことや講義の進め方の説明）	
	第 2 講	我が国の航空市場の歴史	
	第 3 講	航空産業の規制緩和	
	第 4 講	数字で見る我が国航空市場の輸送動向と新幹線との競合	
	第 5 講	航空運賃の設定とイールドマネジメント	
	第 6 講	我が国航空市場への新規企業の参入とその後の動向	
	第 7 講	航空会社の経営統合の事例と理論的分析（JAL・JAS 統合を例に）	
	第 8 講	航空事故の事例と事故調査体制	
	第 9 講	アメリカの航空政策とコンテスト市場の理論	
	第 10 講	ヨーロッパ諸国の航空政策	
	第 11 講	国際航空市場とオープンスカイ協定	
	第 12 講	我が国の空港整備の歴史と空港設備（航行援助システム等）	
	第 13 講	我が国の空港経営の現状と問題点	
	第 14 講	今後の国内航空市場の展望（LCC の戦略等）	
	第 15 講	まとめと総復習	
方法指導	プリントを配布すると共に、パワーポイントによるスライドを活用しながら講義を進めます。配布するプリントは不完全な内容であり、重要事項について講義を受けながら完全なノートを作成する形式とします。		
授業外 学習	国土交通省の Web サイト内の航空に関する事項について、定期的に関覧すると共に、講義を受けた後、配布プリントに書き込んだ事項も含め、全て自身のノートに書き写して復習することを心掛けて下さい。		
成績評価 方法	評価の方法は、本試験（筆記試験）80%、平常点（レポート）20%で評価します。		
ステキ	毎回、プリントを配布しますので、特に指定しません。		
書籍 参考	井上 泰日子著、「最新 航空事業論（第 2 版）－エアライン・ビジネスの未来像－」、日本評論社、2016		
事項 特記	航空に関するニュースには、日頃から注視するようにして下さい。		